

～ 1 9 4 0 ～

ダンケルク

D U N K I R K

映画で考える 「生きて帰るという勇気」

対象：中学生以上

名前

年 組

1 「逃げる」は、負けなのか？

戦争の物語というと、敵を倒して勝つ話を思い浮かべるかもしれません。でも『ダンケルク』が描くのは、**追いつめられた兵士たちが「生きて帰る」ための撤退**です。

 「生きて帰る」ことも、勇気。 ダイナモ作戦

1940年、フランス北部の港町ダンケルクに追いつめられた兵士たちを、海の向こうのイギリスへ逃がす救出作戦が行われました。約33万8000人が救われ、軍艦だけでなく、**ふつうの人たちの小さな船**も数多く駆けつけました。

※映画の登場人物は、実際の出来事をもとにした創作の人物です。

2 「生きて帰る」を考える4つの視点

 ① 撤退も選択

しりぞいて命を守ることは、負けではなく大事な判断。

 ② 迎えに行く勇気

兵士ではない市民が、自分から危険な海へ向かった。

 ③ 怖いのは当たり前

恐怖を感じるのは、弱さではなく人として自然なこと。

 ④ 立場で見え方が違う

陸・海・空。同じ出来事でも、見えるものがちがう。

3 映画『ダンケルク』とは

あらすじ

海岸では、若い兵士トミーが船に乗ろうと必死です。イギリスの港では、ドーソンさんが自分の小さな船で海をわたる決心をします。空では、パイロットのファリアが燃料を気にしながら戦います。3つの物語が少しずつ近づき、一つに重なっていきます。

3つの「時間」

陸（海岸）は1週間、海は1日、空は1時間。長さのちがう3つの時間が交互に描かれる、ふしぎな作りの映画です。セリフも少なく、映像と音で気持ちが伝わってきます。

見るときの心がまえ

爆撃や船が沈む場面など、緊張する場面が続きます。それぞれの人が何を思って行動しているかを想像しながら見ましょう。

4 「生きて帰る」ワーク

 映画を観て（またはあらすじから）、考えて書こう

① セリフが少ないのに伝わってきた気持ちは？ どの場面で？

② あなたがドーソンさんだったら、船を出す？ その理由は？

③ 「生きて帰る」ことの価値を、自分の言葉で説明しよう

④ 同じ出来事を「別の立場」から見た経験はある？

5 ふりかえり

「逃げる」「撤退する」ことにも、_____という意味があると分かりました。これから、困っている人がいたときは、_____をしたいと思います。

 『生きて帰る』ことも、勇気。」

先生・保護者へ：『ダンケルク』は日本で映倫Gです。流血の描写は控えめですが、爆撃・沈没・溺れる場面など緊張の強い場面が続きます。本資料は中学生以上を想定しています。第二次世界大戦初期の状況を事前に補うと理解が深まります。

© 2026 FilmEdu AI / この教材はAIを活用して作成しています。内容に誤りを含む場合があります。解説文はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理が必要になる場合があります。